

「^お上山城」からのたより 初春・第176号

学芸員のお仕事紹介（その二）

（公財）上山城郷土資料館学芸員 長南伸治

「学芸員（歴史系）」とは何者かご存知ですか？おそらく、「何やってる人かわからない」とお思いの方がほとんどだと思います。大雑把に言うくと学芸員とは、資料（地域や人々が刻んできた歴史を留める事物。その分野は歴史、芸術、自然など多岐にわたる）の①収集・②保存、および、それらを用いた③研究・④普及活動（展示や講座）を行う職業となります。

筆者は上山城の学芸員をしておりますので、上山を舞台に前出①～④を実践しています。今回はそれらの仕事の中、①収集について、その中身を紹介していきたいと思えます。

資料の収集は匿名のタレコミではなく、資料所蔵者ご本人からの「引取（上市市に寄贈）」希望の連絡があつて初めて動くことが可能となります。タレ



個人宅から引き取ってきたばかりの段ボールに入れられた資料

（コミは記憶に留める程度はしますが、間違ってもそれを基に所蔵者に「お宅に貴重な資料があるんだって？今度見に行つてもいい？」なんて無礼な連絡は絶対にしません。

さて、引取依頼があつた資料について、上山との関係が見出せるものであれば引き取るよう心掛けています。引き取つた後は資料の掃除・撮影・寸法計測・概要（作成者・年代・見た目の特徴・文書ならば要約）のまとめを行い、その結果を基に申請書類を作成し、上市市の審査を経た後、寄贈資料（所有権は上市市）として上山城で保管されていきます。

ちなみに、資料点数が多いと書類作成のため何日・何ヶ月も、ただひたすら資料一点毎に、先に提示した一連の作業を繰り返す日々が続きます。これは私の持論ですが、学芸員には反復作業と孤独に負けない忍耐力が必要だと思います。職場で人間と会話してないなんて日はザラです（その代わり、資料とは一杯会話できますけどね（笑）。「それは独り言だろー」というツツコミは不要です）。

以上が①収集の仕事です。次回は「②保存」についてお話しします。乞うご期待：：いただければ幸いです。

【常設展示室から】抽選で景品が当たる、グッズ上山城探検、を毎月実施中。グッズを解きつつ、ご見学をお楽しみください。